



千葉県公立高校学力検査の分析～理科編

裏面は**社会**です！

出典：総進図書

- ◎ 時間をかけて教科書の基本的学習事項をしっかりと定着させよう！ ◎ 科学的ニュースも要チェック！
- ◎ 実験や観察を通して、結果を考察する力、思考する力、判断する力も大切！ R5は「チバニアン」が出題！

●各分野から大問2題ずつに加え、4分野複合問題1題で計9問。4分野が25点ずつ均等に配点されている。例年通り、作図や文章記述問題、計算問題等応用問題も出題された。

●毎年必ず「作図」の問題が出題される。今年度は2題で昨年度と同数。「力のつり合いのグラフ」の作図は、実験内容を考察していき、問題の表の数値や計算をしたものの数値を使って解いていく問題。前の問題が理解できなければグラフにすることは難しく、「台ばかりの目盛が変化しなくなるまで」という条件もポイントになる。非常に難易度は高く、5.4%の正答率だった。もう1つが、「電流と磁界の実験の中での方位磁針の様子」について作図する問題で、N極の向きを示す部分を塗りつぶすというものだった。こちらは、電流の大きさが磁界に向きに影響しないことを理解できていればさほど難しくはなく、正答率は48.2%だった。作図問題は無回答率が高く、前者は11.5%、後者は7.8%で、標準からやや難しい問題まで作図問題の訓練も大変重要だと言える。

●記述問題も毎年必ず出題される。今年度は4問(昨年5問)出題。「15字以内で書きなさい」と指定字数があるもの(昨年30字)もあったが、「～について簡潔に書きなさい」「～という言葉を用いて書きなさい」というように字数制限のない記述問題が3問と多くを占めた。例年、重要語句の説明や実験や観察の操作の説明は正答率が高いものの、実験・観察結果からの考察の記述になると正答率が低くなる。授業での実験・観察の考察の機会を大切に、要点を的確に示せるよう、日頃から訓練したい。

●計算問題も頻出で、今年度は5問(昨年8問)出題された。理科の公式に当てはめて計算するものや数学の知識や計算力が必要とされるものもある。

●基礎事項の正確な定着を見るため、社会科同様、完全解の問題が出題される傾向にある。今年度は7問(前回は9問)出題され、正解完答のみ得点を与える問題だった。当然あいまいな知識では得点は望めず、正確な知識定着が必要。時間をかけ、しっかりした学習が大事だ。

●理科は、覚えるべき学習事項がとても多い教科である。また、しっかり学習した受験生とあまり学習しなかった受験生との差がはっきり出る教科でもある。右上表は過去の出題内容を載せているが、次年度の出題予想ができるのでは…。全分野まんべんなく学習を！

分野	出題内容	点	正答率	正答率
物理	運動とエネルギー	3点	正答 61.2%	50.9%
	身近な物理現象	12点	正答 43.2%	
	電流とその利用	10点	正答 56.1%	
化学	身の回りの物質	3点	正答 66.5%	66.2%
	化学変化と原子・分子	10点	正答 67.0%	
	化学変化とイオン	12点	正答 65.2%	
生物	生物の体のつくりと働き	3点	正答 86.4%	65.4%
	生命の連続性	10点	正答 58.6%	
	いろいろな生物とその共通点	12点	正答 67.0%	
地学	気象とその変化	3点	正答 67.3%	47.7%
	大地の成り立ちと変化	10点	正答 54.0%	
	地球と宇宙	12点	正答 63.9%	

出典：進研ゼミ

小問数
 ★…3問以上出題
 ◎…2問出題
 ○…1問出題

過去の出題実績

分野	出題内容	'19	'20	'22	'23
物理	光		○		
	電気回路と電力・熱量	★	★	★	
	物体の運動		★	★	○
	仕事・仕事率		◎	★	
化学	状態変化・気体	◎	○	★	
	物質の分解と結びつく反応		★	◎	◎
	中和とイオン・電池	★	★	★	★
	化学変化と物質の質量	★	○	◎	★
生物	植物の特徴と分類		★		★
	血液循環・排出		○		
	生物のつながり	○			
地学	遺伝・細胞分裂	★	○	○	
	地震・火山	○	★	○	
	前線と天気の変化		○	★	○
	月の見え方・金星の見え方	◎		◎	
	地球の公転と季節・星の見え方		★		★

履修学年	R5 問題数	R5 配点	R4 配点
1年	10問	28点	37点
2年	11問	30点	37点
3年	15問	42点	26点

令和6年度千葉県公立高校学力検査出題方針等について

理科

昨年度と同じ

- ア 学習指導要領に基づき、第1分野、第2分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようになる。
- イ 自然の事物・現象についての基礎的・基本的な事項の知識や、観察、実験の技能を身に付けているかをみることができるようになる。
- ウ 観察、実験のデータ及び図や表などを活用し、理科の見方・考え方を働かせ、結果を分析して解釈する力、そしてそれを表現する力をみることができるようになる。
- エ 日常生活の中で起こる現象や身近な事物について進んで関わり、科学的に探究しようとしているかをみることができるようになる。

千葉県公立高校学力検査の分析～社会科編

裏面は理科です！

◎地形図は頻出！ 千葉問題・時事問題にも要チェック！

◎統計表やグラフなど諸資料を活用・分析する力と考える訓練が必要！

下表の網掛け部の数値は、部分点がある設問について得点率を正答率として算出。

●各分野がバランスよく扱われ、例年大問1では3分野の総合問題と時事問題、千葉問題を関連付けて出題されている。配点は各分野ほぼ均等で、地理と歴史が各31点、公民が26点だった。公民の3学期に学習する「国際社会」も頻出。

●千葉問題は千葉の産業(地理的分野)や千葉の歴史(人物名や出来事)が出題されるので、県の農業・工業・水産業の特徴や県ゆかりの人物と歴史的偉業についてまとめておく。地理や歴史の資料集巻頭に千葉県ページがあるので目を通しておく必要有。R5では「谷津干潟とラムサール条約(R2でも出題)」「東京湾アクアライン(R2でも出題)」「勝浦朝市」「佐倉藩」が出題された。過去には、「成田空港」「印旛沼干拓と田沼意次」「津田梅子」「日蓮誕生寺」が出題されている。

総合地理	地理・歴史・公民・時事・千葉問題の複合問題	12点	正答率 49.1%	
	日本地理	16点	正答 75.0%	正答率
歴史	世界地理	15点	正答 69.0%	72.0%
	前近代史	15点	正答 50.4%	正答率
公民	近現代史	16点	正答 46.2%	48.3%
	国民生活と経済・社会	10点	正答 48.7%	正答率
	日本の政治制度	10点	正答 46.3%	45.5%
国際社会	6点	正答 39.4%		

●時事問題は、今年度本検査で「成人年齢引き下げ」「新紙幣の人物」「2025 大阪万博」「ヒートアイランド」が出題された。R4は「フードロス」「高校新教科科公共」「SDGs」「パリ協定」、R3は「電子商取引」、R2は「オリンピック・パラリンピック」「働き方改革」「一票の格差是正の取組」が出題された。日頃からニュース、新聞、昇降口前掲示物をチェックするようにしたい。冬休み「時事問題対策プリント」を宿題とし、1月小テストを実施するので活用を！

●必ず必題される問題として、①地形図読図と、②記述問題。①では、地図記号や等高線、距離の求め方など頻出の問題を確実に得点できるようにしたい。受検生の正答率も低いので、計算問題を得点できると他の受検生と差を広げることができる。また、記述問題はどの分野でも出題されるが、比較的、歴史的分野と公民的分野での出題が多い。単に用語を暗記として覚えるだけでなく、その用語の背景やその影響など、関連付けて深く学習することも必要だと言える。

●必ず出題される問題として、③図・表等の資料の読み取り問題。今年度でも地形図を除いて4題出題された。基本的な知識を踏まえた読み取り問題もあるが、知識を問わないものも多い。答えを導くには時間を要するが、資料中には必ずヒントがあるので、図や表のポイントをおさえて解答することが必要。選択肢は長文だが、正解がア～エのうちウ、エが正解となるケースが多いのも特徴なのか？ R5は「4か国の電話契約」を読み取る問題(正答率77.5%)の正解は「ウ」だった。これまでもR4「4か国の人口・面積等」を読み取る問題(正答率81.4%)の正解は「ウ」、R3「フードロスの推移」を読み取る問題(正答率63.1%)の正解も「ウ」であり、R3「政策決定の際の若者意識調査」を読み取る問題(正答率77.4%)の正解は「エ」、R4「4か国の自動車、電気自動車保有」を読み取る問題(正答率42.1%)の正解も「エ」、R2「年金給付のあり方に関するアンケート」を読み取る問題(正答率23.5%)の正解も「ウ」、R3「就労に関する意識調査」を読み取る問題(正答率76.6%)の正解も「ウ」、R5「国債残高と依存率」を読み取る問題(正答率87.0%)の正解も「ウ」だった。過去5年「ウ・エ」以外を正解とする問題は、R3「電子マネー利用」を読み取る問題(正答率87.5%正解「イ」)のみ。出題者側としては、長文の選択肢を受検生に全部読ませたい意図がある？今年度、3つの資料から4つの答えを求める「完答型」が出題されるなど新傾向も見られた。

●漢字指定の問題も多く、例年約17%が漢字指定問題。今年度は字数指定で「口分田」「直接金融」「情報公開」(R4「地方自治」「持続可能」、R3「渡来人」「保険(会社)」「代表者」、R2「産業革命」「民族自決」「公務員」)を書かせる問題が出題された。また、県庁所在地、地方中枢都市(R4「前橋市」、R3「仙台市」、R2「松江市」が出題)や教科書の太字は漢字で書けるようにしたい。カタカナ指定やカタカナまたはアルファベット指定の問題(R5「ヒートアイランド」「T P P」、R4「アンデス(山脈)」「CSR」、R3「プランテーション」「アパルトヘイト」「シベリア(出兵)」、R2「リアス」「ユニセフ」)が出題された。字数を含め、指定されることがヒントにもなっているので、前述したように教科書の太字は、しっかり学習して理解したい。

●理科と同様、正解完答のみ得点を与える問題が多く出題される。当然あいまいな知識では得点は望めず、正確な知識定着が必要なため、時間をかけてしっかりした学習が必要。特に時代(出来事)を古い順に並べ変える問題は頻出する。

令和6年度千葉県公立高校学力検査出題方針等について

令和5年7月19日 県教委発表 **社会科**

- ア 地理的分野、歴史的分野及び公民的分野からバランスよく出題し、学習の成果を総合的にみることができるようになる。
- イ 基礎・基本的な知識・技能を身に付けているかをみるとともに、現代社会の諸課題に対する理解の程度をみることができるようになる。
- ウ 統計・地形図・写真等の資料を活用、社会的見方・考え方を働かせ、社会的事象を判断・分析する力、そしてそれを表現する力をみることができるようになる。
- エ 現代社会の諸課題の解決に向けて、多面的・多角的に考察する力や筋道を立てて思考する力をみることができるようになる。

昨年度と同じ